

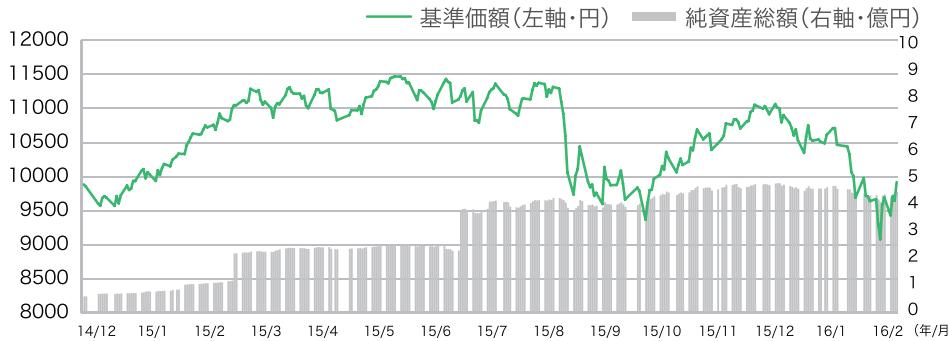


コモンズ30 +しづぎんファンド

〈月次報告書〉



● 基準価額の推移



● ファンドのデータ

(2016年1月29日付)

基準価額	9,909円
純資産総額	443百万円

● 基準価額の騰落率

(2016年1月29日付)

1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	設定来
▲7.47%	▲6.77%	▲11.06%	▲1.47%	▲0.91%

● ポートフォリオの構成比

	当月末	前月末比
コモンズ30ファンド (マザー)	91.6%	▲0.4%
静岡銀行株式	7.0%	▲0.6%
現金等・その他	1.3%	1.0%
構成銘柄	31社	±0社

● 分配実績

第1期 (2015年12月18日)	0円
----------------------	----

● 運用状況(コモンズ30+しづぎんファンド)

当ファンドは、コモンズ30マザーファンドを純資産総額の90%を組み入れ、静岡銀行株式を10%を上限として高位に組入れることを運用方針としています。1月末における各組入比率は、コモンズ30マザーファンド91.6%、静岡銀行株式7.0%です。当ファンドの月間リターンは7.47%の下落となりました。なお、コモンズ30マザーファンドは6.97%の下落、静岡銀行株式は12.18%の下落となっています。コモンズ30マザーファンドの運用状況については下記をご参考ください。

● 運用状況(コモンズ30マザーファンドについての記載となります)

◎1月のファンド月間リターンとその要因

12月のファンド月間リターンは6.97%の下落となりました。銘柄別の月間リターン下位5銘柄は、「日東電工(▲23.46%)」、「SMC(▲15.90%)」、「日立製作所(▲15.20%)」、「ホンダ(▲14.55%)」、「楽天(▲12.44%)」となりました。一方、上位5銘柄は、「東京エレクトロン(+2.08%)」、「ヤマトホールディングス(+1.61%)」、「リンナイ(+1.48%)」、「日揮(+1.18%)」、「味の素(▲1.49%)」となりました。あくまでご参考ですが、同月のTOPIXは7.45%の下落となり、当ファンドはTOPIXを0.48%上回りました。

◎新規買付及び全売却決定銘柄、月末の組入銘柄数

1月に決定された新規買付銘柄及び全売却銘柄はありません。したがって1月末の組入銘柄数は前月と同様に30銘柄となりました。

◎1月末のポートフォリオの構成比(株式組入比率)

1月末の株式組入比率は前月末(95.5%)から約3%引き上げ、98.5%となりました(残り1.5%程度は現金などを保有)。月を通しての株式組入比率も前月から約2%引き上げ、97%程度を維持しました。比率を引き上げた要因は、当月の株価下落を長期投資の観点から一時的なものと判断したことなどによるものです。

◎1月末の組入上位10銘柄と投資行動

1月末の組入上位10銘柄は、「ヤマトホールディングス」、「味の素」、「クボタ」、「東京エレクトロン」、「日立製作所」、「セブン&アイ・ホールディングス」、「ダイキン工業」、「カカクコム」、「ベネッセホールディングス」、「ユニ・チャーム」です。主な投資行動としては、当ファンドのマザーファンドに資金流入があったため、幅広い銘柄を買い増しました。各銘柄の組入比率は「投資委員会」にて承認された運用計画に基づく範囲(2.5~3.5%)に収めました。

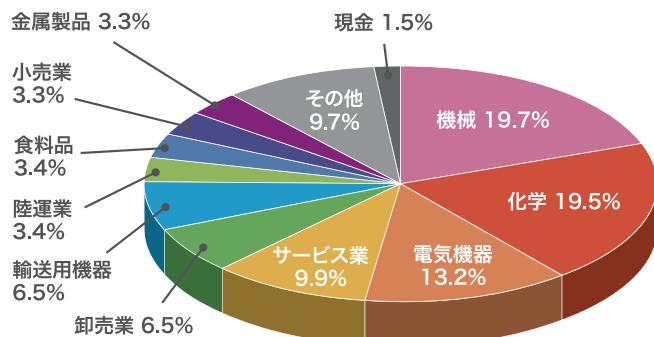
◎運用・調査体制について

【お知らせ】2月1日より、運用部にシニアアナリストの末山仁(すえやまひとし)が加わりました。新しい視点を運用力強化につなげてまいります。どうぞ、ご期待ください。運用・調査体制については5ページ目をご確認下さい。

運用部長・チーフポートフォリオマネジャー 糸島 孝俊

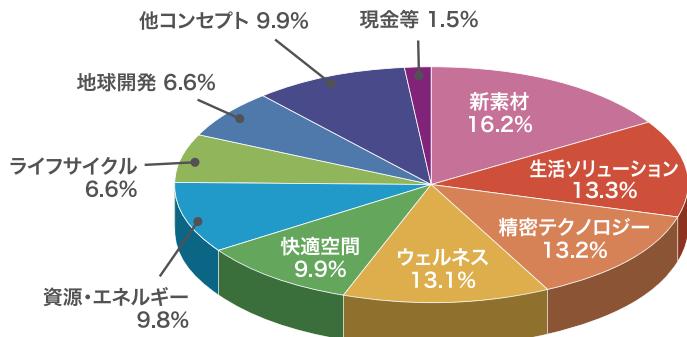
● コモンズ30マザーファンドの業種別構成比と未来コンセプト別構成比

◎ 業種別構成比



(2016年1月29日付)

◎ 未来コンセプト別構成比



- 比率は純資産総額を100%として計算しております。
- 比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。

※未来コンセプトは全10種類。詳細は5ページ参照

● 組入上位10銘柄(静岡銀行株式を除く)

(2016年1月29日付)

銘柄名 [コード]	業種	未来コンセプト	概要
ヤマトHD [9064]	陸運業	生活ソリューション	「クロネコヤマトの宅急便」で親しまれる宅配便業界のトップ。大型物流拠点を構築、電子商取引業者からの需要、B2B(企業間)の物流需要の取り込みなど総合物流企業へと変貌していきます。国内の当日配送エリアは拡大の方向、アジアへの生鮮食品の輸出増加なども期待されます。
味の素 [2802]	食料品	ウェルネス	日本の昆布だしから抽出した「うま味」を発見、世界の食文化に合わせた、調味料や加工・冷凍食品、飲料などを提供しています。2050年の世界人口90億人時代を見据え、東南アジア、中南米、アフリカで販売ネットワークを構築、ネスレ、ユニリーバ、ダノンを追いかけています。
クボタ [6326]	機械	地球開発	長期的に世界の食糧需要が増加するなか、世界の競合企業に比べて、水田用、中小型の農機具で高い競争力を持っています。今後は、特にアジアでの成長が期待されます。
東京エレクトロン [8035]	電気機器	精密テクノロジー	「医療や環境、新しい産業の未来を考えるとチップの将来は無限」と会長は確信し、商社から出発、今や世界トップの半導体製造であるアプライドマテリアルの背中まで迫っています。経営はクレドの心温まるメッセージでけん引。愚直で本質的な挑戦を続けています。
日立製作所 [6501]	電気機器	社会インフラ	2008年度の巨額赤字後、マネジメントの強力なリーダーシップで進められた構造改革で強靭な組織になり、収益体质も強化されました。「インフラとITをつないで、世の中を使便利にする」をモットーに、グローバルでの展開を加速。重視する「ダイバーシティ」が、成長の大きな武器になります。
セブン&アイ・HD [3382]	小売業	生活ソリューション	変化への対応、基本の徹底という企業文化が浸透しており、オムニチャネル、セブンイレブンの大量出店、北米でのコンビニ買収戦略、などでさらなる高みを目指しています。コンビニの中で、同社にぴったりくる表現として、「ダントツセブン」、「流通革命の中で、良いポジショニング」という感じです。
ダイキン工業 [6367]	機械	快適空間	世界に誇る日本の省エネ技術、強い販売力、優れた商品力が競争力の源泉であり、アフターケアとメインテナンスを絡めた総合力も抜群です。
カカクコム [2371]	サービス業	生活ソリューション	価格.com(家電比較サイト)、食べログ(レストラン口コミサイト)など、利用者3,000万人以上のサイトを複数運営しています。今後も、インターネットユーザーの利便性を最重視し、旅行、不動産、映画など、新規領域での事業開発が期待されます。
ベネッセHD [9783]	サービス業	ライフサイクル	日本の通信教育事業において、圧倒的なシェアを誇ります。国内教育事業で培った知恵を用い、海外展開(台湾、中国、韓国)と事業領域拡大(介護、語学)で、変化し続ける環境を乗り越えて成長を目指しています。
ユニ・チャーム [8113]	化学	ライフサイクル	これまで培ってきたマーケティング力を生かし、新興国ではトイレタリーで、先進国ではペットケアでの成長を目指しています。経営の仕組み化や、他社から学び継続的改善をおこなっていることは、強みの一つです。

● 新規組入投資先

なし

● 今月のピック！

1月は日東電工の株価が23.46%の大幅下落となりました。米アップルの減産やスマホの最大市場である中国の景気減速、為替の円高傾向、などで業績下方修正懸念が高まったためと思われます。

スマホ部材は同社の収益源であり成長の源泉でもあります。スマホ部材では、液晶パネルに使う偏光板（液晶パネルの中で光の通過と遮断を制御する役割）やタッチパネルに貼り付ける導電性フィルムを手がけています。

スマホの動向に収益が影響を受ける同社ですが、非スマホ関連の育成が進み、強固な収益体质に変わりつつあります。非スマホでは、自動車向けを中心に工業用テープ事業の拡大が見込めます。車体フレーム制震補強材、ワイヤーハーネス結束用テープなどを主体とする工業用テープ事業は、営業利益の約3割弱のウエイトまで高まっています。同社固有の「三新活動」（三新とは、新製品開発、新用途開拓、新需要創造の“三つの新”）という組織的なマーケティング活動が成果につながっています。

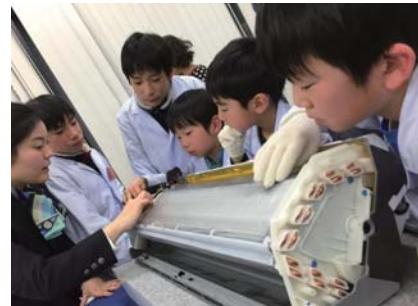
運用部・シニアアナリスト 上野 武昭

● こどもトラスト

こんにちは。マーケティング部の横山です。

1月17日（日）コモンズ30ファンドの投資先企業であるダイキン工業さんとのコラボセミナー「こどもトラストセミナーで、めざせ！空気博士」を開催しました。こどもトラストで口座を保有している18名の小学生とその親御さんにご参加いただきました。エアコンはどうやって部屋の中の熱くなった空気を冷やすのか。大人も改めて質問されると説明に詰まってしまうような内容を面白くわかりやすく解説していきます。

勉強の次はいよいよ5～6人のチームで1台ずつエアコンを分解していきます。細かい部品がたくさん。今勉強したばかりの部品が次々に出てきます。エアコンの分解で中身を見て触るなんてなかなかできない体験です。エアコン分解のあとは、重政先生から渋澤に進行役をバトンタッチして最近のダイキンさんの取り組みについてこれから成長分野について話を聞きました。最後にこどもトラストセミナー恒例となりました、社長さんに手紙を書くコーナー。参加者のこどもたちはコモンズを通してダイキンさんに投資している小さな株主です。こどもたちの一生懸命な言葉でダイキンさんも私たちも笑顔に。



- ・ダイキンを世界中に広めてください。これからもがんばってください。（9歳男の子）
- ・いろいろな部品をこまかく作っていてすごいと思いました。これからもエアコンなどを作ってがんばってください（10歳男の子）
- ・社長としていろいろたいへんだと思いますがめげずにがんばってください。応援しています。（12歳男の子）
- ・エアコンを作るのをずっとがんばってください。今日のイベントで仕組みがいっぱいわかりました。すてきなエアコンだと思いました。ありがとうございました。（8歳女の子）

投資家（たとえそれが小さなこども投資家であっても）が、こうして投資先企業について知り、ふれあいを通じて身近に感じ、そして長く心から応援していくことが本来の長期投資の姿。これからもこのような投資でつながる対話の場をみなさんと一緒に作っていきたいと思います。ダイキンさん、ご参加の皆様、ありがとうございました！

マーケティング部 横山 玲子

● メディアに登場！

日付	掲載メディア	ニュース
1月3日	日経電子版	「マネーブログカリスマの直言」に渋澤が『今年は企業統治の「見える化」を鍛えよ対話力』と題し寄稿しました
1月9日	TV東京	『マナーの羅針盤「ブルベア羅針盤」』に糸島が出演しました
1月12日	Benesse教育情報サイト	「子どもたちの未来を支える資産を作る～ジュニアNISA入門～【前編】」に渋澤が寄稿しました
1月13日	日経電子版	「逆回転する投資マナー 買い手不足、心理悪化招く」で糸島がコメントしました
1月14日	日経電子版	『セコム、「空から警備」の勝算』で糸島がコメントしました
1月25日	Benesse教育情報サイト	「子どもたちの未来を支える資産を作る～ジュニアNISA入門～【後編】」に渋澤が寄稿しました
1月27日	時事通信	伊井のインタビュー記事「追加緩和なら上昇へ」が掲載されました

● ちょっといい話

【マイナス金利の世界でも基本は同じ】

1月末、日本銀行が「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」を導入しました。このことは直接、個人の預貯金がマイナス金利になることを意味しませんが、お金の流れが変わることは確かです。既に影響は出始め、日本国債の10年物金利が2月1日には0.05%の過去最低利回りとなり、銀行の預金金利も0.02%から0.001%に下がり始めました。100万円の預金で税引き後年間8円の利息です。加えて個人向け国債やMMF(マネーマネージメントファンド)などの短期の公社債で運用される投資信託も次々と募集停止になっています。学資保険などの保険商品も同様の動きになる可能性が指摘されています。一方で、住宅ローンや自動車ローンなどの借入金利も一段の低下が見込まれています。

また、2014年に導入されたNISA(少額投資非課税制度)、2016年からのジュニアNISA、また2017年には確定拠出年金の制度が拡充されます。マイナス金利の導入とこうした非課税制度の充実により、徐々に貯蓄から投資へと個人の投資行動も変わっていくことでしょう。例えば、東証一部全銘柄の加重平均配当利回りは2%弱です。単純な比較は出来ませんが、10年国債や預貯金と比べると大きな差になっています。それでも、資産形成の基本は変わりません。

- ①長期的な資産形成に適した投資信託をコツコツと積立てていく。
- ②NISAや確定拠出年金などの非課税制度を利用する。

マイナス金利を背景とする資金移動で、さまざまな歪みが出てきますが、今こそ投資の基本を大切にするべきです。



コモンズ投信株式会社 代表取締役社長 伊井 哲朗

● 運用体制と役割(コモンズ30マザーファンド)

伊井 哲朗	代表取締役社長 最高運用責任者	・投資委員会議長 ・10~20%の現金比率の決定
渋澤 健	取締役会長	・非財務的な企業価値を含む経営の視点
糸島 孝俊	運用部長 チーフポートフォリオマネージャー	・新規組入・全売却の投資委員会への提案 ・組入先ウェイトのリバランス(2%~4%) ・10%以下の現金比率の決定
上野 武昭	運用部 シニアアナリスト	・新規組入・全売却の投資委員会への提案
鎌田 聰	運用部 シニアアナリスト 兼 ポートフォリオマネージャー	・新規組入・全売却の投資委員会への提案

- 新規組入投資先と全売却投資先の決定は、投資委員会での全員一致が原則
- 20%以上の現金比率についても、投資委員会で決定
- メンバーと役割は以下の通り

● 投資銘柄の選定プロセス



● 未来コンセプトについて

当ファンドが独自に行っている業種分類です。以下のように10種類に分類を行っております。

コモンズ流未来コンセプト10

資源・エネルギー	新素材	精密テクノロジー	ウェルネス	生活ソリューション
社会インフラ	未来移動体	快適空間	地球開発	ライフサイクル

● コモンズ30+しづぎんファンドの費用について

購入時手数料	指定販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。
換金手数料	ありません。
運用管理費 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.242%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により遞減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の0.108%(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。

※上記の手数料(費用)等の合計額については、保有期間に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

● コモンズ30+しづぎんファンドのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま(受益者)に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。
※リスクの要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

● お申込みメモ

信託設定日	2014年12月29日
信託期間	無期限(ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることができます。)
分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差し引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかつた利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
換金代金の支払い開始日	換金申込日から起算して5営業日目
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込は、翌営業日のお申込みとして取扱います。

● 販売会社一覧

販売会社名称	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	日本商品先物取引協会
(株)静岡銀行	登録金融機関 東海財務局長(登金)第5号	○	○		
マネックス証券(株)	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
静銀ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第10号	○			